

# 水辺空間整備に関する広報活動事業

業務部

## —平成3年度宝くじ助成事業報告—

河川は水と緑のオープンスペースとして、うるおいとやすらぎの場、憩いとレクリエーションの場等の役割を担っており、河川空間のこれらの機能に対する期待と要請も一層増大している。

このため、良好な水辺空間の形成を図っていくことが益々重要となっており、河川改修を行う際、河川がうるおいのある良好な水辺空間となるよう、景観や親水に配慮して行われるようになってきている。

このような水辺空間整備の活発な展開を図るため、事業への理解、効果、必要性等の広報活動を通して、河川愛護意識の普及をはかっていくことが重要である。

宝くじ助成事業による水辺空間整備の広報活動事業は、水辺空間整備に関する情報等を提供するとともに、宝くじ事業の公益性に関する一般の方々の理解を深める目的で、財団法人日本宝くじ協会より助成を受け行っているもので、平成3年度は51,440千円の助成金を受け以下の事業を実施した。

### 1. アメニティ・リバーフロント施設の設置

水辺空間整備を実施している地区において、アメニティ・リバーフロント施設（うるおいのある水辺空間の向上を図るため記念碑・塔、噴水等の施設）を設置することにより、さらに水辺空間の魅力が増し、地域の人々から親しまれることをねらいとして、次の3箇所に設置した。

#### ①腰巻川（弘前市）・照明オブジェ



照明オブジェ

#### ②旧大聖寺川（加賀市）・水辺で遊ぶ子供の像

#### ③防賀川（京都府旧辺町）・ブロンズ像「夏の川」

### 2. パンフレット等の作成

パンフレット等は、次の6点を作成し、地方自治体、国の機関等に配布した。

#### ①「水辺空間整備」のパンフレット作成

#### ②川とつながりをもつ歴史・伝承・文化に関連する主要な近畿中部の川のリバーガイドマップ作成

#### ③「人と自然にやさしい川づくり」をキャッチ・フレーズとしたポスター作成

#### ④「人と自然にやさしい川」をキーワードにしたカレンダー作成

#### ⑤人間生活と調和のとれた自然豊かな川づくりをめざした「多自然型川づくりシンポジウム」の講演集作成

#### ⑥リバーフロント整備に関する水文化情報等のリバーフロント啓発資料の作成

平成4年度も昨年度に引き続き宝くじ助成金を受け、水辺空間整備に関する広報活動事業を行う計画であり、特にアメニティ・リバーフロント施設は、水辺空間の景観等にマッチしたモニュメントとしての位置づけることが多く、施設は当センターが設置し、完成後市町村に寄贈することとしている。

なお、アメニティ・リバーフロント施設等の詳細は、業務部におたずね下さい。



水辺で遊ぶ子供の像



ブロンズ像「夏の川」